

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金について

《令和5年度の評価結果と交付額》

合計 2,185 点中 795 点で、点数、交付額ともに県内では 22 位。

	評価結果／満点	得点率	交付額
推進交付金	530／1,355点	39.1%	1,410,000円
努力支援交付金	265／830点	31.9%	1,773,000円
合 計	795／2,185点	36.4%	3,183,000円
全国平均	1155.9点	52.9%	
宮崎県平均	1072.5点	49.1%	

《項目別得点内訳》

評価項目	新富町	県平均	全国平均
I PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築	90	90.0	104.1
II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進	605	864.6	933.9
(1)介護支援専門員・介護サービス事業所等	50	51.2	58.4
(2)地域包括支援センター・地域ケア会議	90	96.3	95.4
(3)在宅医療・介護連携	60	77.1	88.6
(4)認知症総合支援	15	82.9	91.3
(5)介護予防／日常生活支援	195	238.1	276.5
(6)生活支援体制の整備	45	54.8	58.4
(7)要介護状態の維持・改善の状況等	150	264.2	265.2
III 介護保険運営の安定化に資する施策の推進	100	117.9	117.9
(1)介護給付の適正化等	85	71.7	64.6
(2)介護人材の確保	15	46.2	53.3
合 計	795	1072.5	1155.9

I PDCA サイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築については、第 8 期介護保険事業計画の給付計画値と実績値との乖離状況の要因考察や、給付費適正化の PDCA サイクルが機能していなかったため、得点が伸びなかった。

II 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進については、認知症総合支援の得点が特に低い状況であった。認知症初期の段階から医療、介護専門員などあらゆる関係者でチームを組み、認知症の方やその家族を支援する体制が十分に構築できなかったことによるもの

である。今後は、認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支援体制の強化を図る必要がある。

Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進のうち介護給付の適正化等については、介護給付の適正化事業の 5 事業である、ケアプラン点検や医療情報との突合、点検に努めたため、全国平均及び県平均を上回る結果であった。